

謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます

HEART & DESIGN FOR ALL

誰もが暮らしやすい社会の実現へ

Special talk

ユニバーサルデザインの視点で、未来を語ろう。



誰もが安心・安全・快適に暮らせるまちづくり

今 年4月の「障害者差別解消法」施行を控え、ユニバーサルデザイン(以下UD)の社会的ニーズが高まる中、建設コンサルタントの株式会社オリエンタルコンサルタンツは、UDの総合コンサルティングファーム株式会社ミライロと2015年6月業務提携を実施。世界的スポーツの祭典が東京で開催される2020年を視野に、高齢者、障がい者、外国人など、さまざまな人が安心・快適に過ごせる環境づくりのための取り組みを共に進めている。パートナーシップを結んだ両社の代表が、年頭にあたりこれからの「UDまちづくり」について、本音で語り合った。

株式会社
オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長
野崎秀則氏

MIRAIRO
代表取締役社長
垣内俊哉氏

まがほくのほん
UD専門家の合体

垣内 私が野崎社長と初めてお会いしたのは、勉強会でした。野崎 当社が事務局を務める「NPO法人健やかまちづくり」の勉強会で、垣内社長に講師を務めていただいたのがきっかけですね。**垣内** ミライロとしては、UDを社会に広めていくという思いがありましたので、うれしい縁でした。野崎 私たちにとっても「社会がUDを求めている」今、ミライロさんと協働することで、社会のニーズに確かな答えを提供できる、と思います。**垣内** 社会がUDを求める理由のひとつが、4月に施行される障害者差別解消法ですね。**野崎** 文字通り、差別のない「UDまちづくり」がこれまで以上に求められます。2020年のオリンピック、パラリンピック開催に向け、より多くの外国の方、障がいのある方が日本を訪れます。さらに防災面でもUDのニーズは高まっています。私たちはまちづくりのノウハウはありますが、UDについては十分な知見があるとは言えなかった。素晴らしいタイミングで「垣内さん登場！」だったわけですね。**垣内** ありがとうございます。



株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長
野崎秀則氏 Nozaki Hidenori

1958年東京都生まれ。1982年立命館大学理工学部土木工学科卒業。同年株式会社オリエンタルコンサルタンツ入社。1990年代よりバリアフリー事業にも携わる。1995年同社東京事業本部環境文化環境デザイン室長就任。2009年同社代表取締役社長、グループを束ねる株式会社ACKグループ取締役就任(兼務)、2013年同グループ代表取締役社長就任。

野崎 2020年に向けて、このユニバーサルデザインが日本人の文化として昇華していったら素晴らしいですね。**垣内** 障害者差別解消法という法律が施行されるからやらなければいけない」ということではなく、街で自然にふるまえば「まち」として普及できたらいいなと思っています。**垣内** 貴社はユニバーサルな人材育成にも積極的に取り組んでいらっしゃいますね。**野崎** まちづくりにUDを導入するには、技術者も高齢者や障がい者のニーズをきちんと理解することが必要だと感じました。ミライロさんが推進する「ユニバーサルマナー」を弊社の社員もしっかり学び、世の中に広げていけたらと思っています。**垣内** 障がい者への対応スキルが、難しい知識や技術ではなく、誰もが身に付けられるマナーとして広がることを目指し「ユニバーサルマナー検定」をつくりました。貴社には定期的に検定会場をご提供いただくなど、普及啓発にご協力をいただき大変うれしく思っております。**野崎** 2020年に向けて、このユニバーサルマナーが日本人の文化として昇華していったら素晴らしいですね。**垣内** 障害者差別解消法という法律が施行されるからやらなければいけない」ということではなく、街で自然にふるまえば「まち」として普及できたらいいなと思っています。



これまでに3つのモデル地域においてモニターツアーを実施し、高齢者や障がい者の旅行ニーズを検証

垣内 地方創生についてはどのようにお考えですか。**野崎** 人口減少、超高齢化が進む日本では、地方を活性化することは大きな課題です。観光事業についてはインバウンド需要を伸ばすことも重要ですが、高齢者や障がい者の観光需要を伸ばすことも重要と考え、そのための環境整備を推進しています。**垣内** 高齢者や障がい者は、病院など必要不可欠な場所への外出はしやすくなりませんが、観光という観点ではまだまだです。地方のUD化が進めば、障がい者にとっても旅が身近なものになり、生き生きと暮らすことができます。**野崎** 弊社では現在、観光庁や沖縄県からのご依頼を受け、ユニバーサルツーリズム関連の業務にも取り組んでいます。**垣内** 地方自治体の福祉課の方

旅をもっと身近に 地方をもっと元気に
「防災」と「復興」 命を守るUD
必要だと感じました。命を守るUDとして貴社では「復興まちづくり」にも取り組んでおられますね。**野崎** ジョイントベンチャー(共同企業体)の構成員として、陸前高田市の復興事業に参画しております。垣内さんにも現地にご同行いただきましたが、いかがでしたか。**垣内** ゼロになってしまった街だからこそ、UDがあたりまえの新しい街が生まれようとしていると感じました。**野崎** 陸前高田市の戸羽市長が提唱する「フーマイゼーション」という言葉の知らないまちづくり、差別なく平等であることがあたりまえの社会を目指しています。**垣内** すべての人に平等であることはとても難しく、例えば視覚障がい者のための点字ブロックは、車いすやシニアカの人の邪魔にならしてしまうこともある。UDまちづくりには、皆が少しずつ譲り合い我慢することも必要だと思います。**野崎** なるほどハードだけで完ぺきを目指すのではなく、ハードのユニバーサル化が大切ですね。



ハザードマップ付随資料の色や文字もミライロがUD監修

からよくお聞きするのは、「UDに関する要望はさまざま、何から取り組めばいいのか、どこまでやるべきなのか、線引きが難しい」という現実です。貴社のようなコンサルタントの参画は、今後ますます必要とされているように感じます。**野崎** UDまちづくりがますます重要になる今後は、ハードだけでなくハードの面でも、より一層ミライロさんとの協働を進め、社会に貢献できるよう努めてまいります。**垣内** UDまちづくりを日本中、日本から世界に共に広げていきましょう！

UD視点を取り入れた復興まちづくりを実践

2011年3月11日に発生した東日本大震災において甚大な被害を受けた陸前高田市。オリエンタルコンサルタンツでは、同市高田地区に新たに形成される高台住宅地とかさ上げ市街地の基本設計や、清水建設様を代表とするJV(共同企業体)の構成員として、地盤調査、測量、設計および工事などの一体的業務を事業受託者のUR都市機構から受注。復興まちづくりの過程で、UDの視点を取り入れ、誰もが安心、快適に生活できるまちづくりを進め、同市の早期復興支援に取り組んでいます。



株式会社ミライロ 代表取締役社長
一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会 代表理事
垣内俊哉氏 Kakiuchi Toshiya

1989年愛知県生まれ岐阜県育ち。2012年立命館大学経営学部卒業。2010年在学中に株式会社ミライロ設立。2011年近畿地区人財力大賞グランプリ。2013年みんなの夢AWARD3グランプリほか受賞多数。ユニバーサルデザインによるコンサルティング、ユニバーサルマナーの普及に尽力し、日本のみならずアジア、アメリカなど海外での日々。